

<霊的備え>

神よ 私をお守りください。私はあなたに身を避けています。

私は主に申し上げます。「あなたこそ 私の主。私の幸いは あなたのほかにはありません。」
(詩篇 16:1-2)

<理解の手引き>

カインは罪を治めることができず、ついに弟アベルを殺してしまいました。殺人を犯したカインに、主は「あなたの弟アベルは、どこにいるのか」と問われます。

全知の神が、何故このような問いをされたのでしょうか？ それは、カイン自らがその罪を認め、悔い改める事を期待していたからではないでしょうか。

しかし、カインは、あくまでも、その罪を隠そうとします。神の前に隠しおおせるものなど何一つないのに、それを隠せると言う所に、人間の愚かさ、罪があると言えましょう。罪を犯した人間が、神の御前になせる唯一のことは、その罪を素直に認め、悔い改める事だけなのです。

しかし、このようなカインに対して、なお主のあわれみの御手がのばされます。(15節)

<考えてみよう>

(観察) 主はカインに対して、何を問われましたか？

.....
.....
.....

(解釈) 全知の神が、何故わざわざ、このようなことを問われたのでしょうか？

.....
.....
.....

(適用) ここから、神について、罪について、何を学ぶ事ができますか？

.....
.....
.....

<心に残ったみことばや気づき>

.....
.....
.....

<今日の祈り> (教えられたことを短い祈りで表す)

.....
.....
.....